

さあちようせん! すなおな心でなかよく学ぶ 三砂っ子

令和2年度がスタートしました。

3月は一ヶ月間の学校休校に伴い、保護者の皆様に多大なご負担とご心配をおかけしましたが、4月6日、入学式で93名の一年生を迎え、本校は17学級548名でスタートいたしました。教職員一同、保護者・地域の皆様のご支援とご協力のもと、本校の教育活動の充実・発展に向けて、全力で取り組んでまいります。

本校の教育目標

◎ちようせんする子

自ら課題をもち、目標に向かって粘り強く努力する児童を育成する。

○心豊かな子

個性を尊重し、思いやりの心をもって互いに協力し合う児童を育成する。

○きたえる子

健康や安全に関心をもち、体力の向上に努める児童を育成する。

<経営理念>

開校 90 周年の歴史と伝統によって培われた建学の精神を継承し、時代と社会の変化に対応できる学校づくりに努めていく。教職員全員が思いやりをもって、児童一人一人の良さを認め、褒め、全ての子供たちが自己の目標に向かって粘り強く努力する学校を目指します。

<学校経営の基本方針>

- ① 学力向上の基盤である、生活習慣と学習規律の定着に向け、全教職員で一丸となって取り組む。(こうとう学びスタンダードの確実な実施)
- ② 問題解決学習を推進し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善（アクティブラーニングの視点にたった授業改善）を推進する。
- ③ 児童が自己の良さや可能性を認識できる自己肯定感を育むため、努力を褒め、誉めて伸ばす指導に徹する。(持続可能な社会の創り手を育成)
- ④ 教科横断的、総合的な見地に立ち、校内外の資源を効果的に活用して、活動的・能動的な学びを推進する。(カリキュラム・マネジメント)
- ⑤ ホームページや印刷物、様々な会合等を通して、地域・保護者と積極的に学校の情報を共有し、共に児童を育てる。
- ⑥ 学校教育は、内部関係者のみで行うものではなく、児童・保護者・地域（学校評議員）からの評価を謙虚に受け止め、一体となって教育活動を推進する。
- ⑦ 教職員こそ最大の教育環境である。その自覚と使命感をもち、児童を信じ抜くことで信頼関係を結び、児童から、保護者から、地域から信頼される教師を目指す。

残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、3月から休校期間が延長され、子供たちの登校はしばらくできませんが、子供たちが健康に過ごせますよう、ご家庭のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。私たちも一日も早く開校できますようお願い、環境を整えるなどの準備をしております。保護者の皆様も、くれぐれも健康にご留意ください。